



三滝中学校の学力・学習状況について(報告)

学校教育活動も後半にさしかかりました。そこで今回は、4月17日(火)に3年生を対象にして実施された「全国学力・学習状況調査」、1学期に1、2年生を対象にして実施された「NRT検査(学力到達度検査)」及び「英検IBA(英語能力測定テスト)」の結果に基づき、本校の生徒の学力の定着状況、その強みと弱みを分析し、検証した内容と今後の指導の手立てについて、特に保護者の皆様に報告いたします。調査より、本校生徒の学力のすべてが測定できるものではありませんが、今後の子どもたちの学力向上の取り組みに活かしていきます。

全国学力・学習状況調査(3年生)

【国語】

A問題では三重県平均を上回りましたが、全国平均はわずかに下回りました、B問題では、全国平均、三重県平均を上回りました。無回答率は、全国平均、三重県平均より低くなっています。

A(知識)問題

＜強み＞ 『読むこと』『言語についての知識理解』及び「情報を整理する」問題が比較的よくできています。

＜弱み＞ 「登場人物の描写や段落相互の関係に注意して読む」問題、「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す」問題が苦手な子が多いようです。

B(活用)問題

＜強み＞ すべての領域・観点においてよくできています。特に、「資料の読み取りやグラフを活用」した問題の正答率が高いです。また、「相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く」問題で無回答率が低かったです。

＜弱み＞ 「選択式」問題の無回答率0%に対して、「記述式」問題の無回答率が6%でした。あきらめずに書く取り組みを工夫していきたいところです。

○今後も題材や手立てを工夫しながら、『書く力』を伸ばしていきます。

○段落ごとの内容を捉え、文章全体の構成を考えられるような学習活動を取り入れます。

○資料を活用したり情報を整理したりする学習活動を継続的に取り入れます。

【数学】

A・B問題とも、全国平均、三重県平均を上回っていますが、B問題の無回答率が全国平均、三重県平均を上回っています。

A(知識)問題

＜強み＞ 各分野において、基礎知識はあり、特に『数と式』がよくできています。選択式の問題については無回答率が0%でした。

＜弱み＞ 『資料の活用』『図形』が苦手な、『関数』では無回答率が高くなっています。

B(活用)問題

＜強み＞ 『数と式』はよくできています。

＜弱み＞ 『図形』『資料の活用』が苦手なようです。また、「選択式」問題の正答率が全国平均を下回っています。さらに、「判断の理由や問題解決をする方法を数学的に説明する」問題の

無回答率が高くなっています。

○数学としての問題解決学習や、資料を見ながら自分の考えを書いたり、話したりする活動に今後も取り組んでいきます。

【理科】

全国平均、三重県平均とほぼ同じです。

＜強み＞ 「軟体動物の組み合わせ」「太平洋高気圧の特徴」「地震の揺れの強さやS波による揺れ」を答える問題がよくできており、知識の問題が得意なようです。

＜弱み＞ 「テレプロンプターによる光の反射」「台風の進路が何に影響されるのか」などを図から考えるというように、思考を求められる問題が苦手です。また、「実験結果から新たな条件の変化や新たな疑問を考える」問題の無回答率が高いことから自分の思考を求められる問題に苦手意識を持っていることがわかります。

○観察・実験の場面などを通して予想すること、結果からわかることを考察する活動を続け、班で事象に対して相談する活動を増やしていきます。

【生徒質問紙からみられる3年生の特徴（生活面）】

下の表の数値は、各質問に対し「あてはまる」・「どちらかといえばあてはまる」（肯定的な回答）の合計をパーセントで表しています。

生徒への質問（抜粋）	本校	全国
家で、学校の宿題をしていますか	98.6 ↑	91.6
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか	91.4 ↓	95.5
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	90.0 ↑	82.2
自分には良いところがありますか	78.1 ←	78.8
将来の夢や目標を持っていますか	74.9 ↑	72.4
生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	72.8 ↓	76.3
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	63.6 ↑	52.1
家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	60.9 ↑	55.2
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	55.0 ↓	59.3
今住んでいる地域の行事に参加していますか	42.4 ↓	45.6

◇「家で、学校の宿題をしている」生徒は過去3年間増え続けており、「家で、自分で計画を立てて勉強している」生徒も着実に増えています。

◇「いじめはどんな理由があってもいけない」生徒が昨年度より多くなりましたが、依然として肯定的でない生徒がいます。

◇「将来の夢や目標を持っている」「自分にはよいところがある」「先生は自分のよいところを認めてくれている」と思っている生徒が昨年度までの生徒に比べて増えています。

◇「地域や社会の出来事への関心」や「地域行事への参加」がまだまだ少ないですが、ボランティア活動への参加は全国平均並みでした。

[その他の質問から]

◇「朝食」や「起床・就寝時刻」は習慣化されている生徒が多いようです。

◇平日1時間以上、家で学習している生徒は70.7%で、過去4年間上昇傾向にありますが、全国・三重県の平均よりは下回っています。

1年生・2年生 NRT(学力到達度検査)

四日市市教育委員会では、市内の小中学生の学力を把握するため、平成14年度から到達度検査を実施しています。本年度は1・2年生の国語と数学について実施しました。

【1年生 国語】

＜強み＞ 観点別のすべての領域で、全国平均を上回っています。特に『言語についての知識・理解・技能』の領域がよくできています。文中での語句の関係や用法の区別、熟語の構成の内容について理解している生徒が多いようです。

＜弱み＞ 「漢字を書く」問題、「送り仮名」「表現の仕方や言葉の意味」などの知識的な問題が十分にできていません。

○毎回の漢字小テストにおいて、どこが間違いやすいかなどの注意点を意識して取り組みます。

○さまざまな分野の作品を取り扱ったり語句調べをしたりして、語彙力や知識を増やしていきます。

【1年生 数学】

＜強み＞ すべての領域（数と式、図形、関数、資料の活用）において全国平均を上回っています。特に『資料の活用』と『関数』が大変よくできています。観点別（見方・考え方、技能、知識・理解）においては、『数学的な見方・考え方』が優れています。

＜弱み＞ 「整数の性質」、特に「分数の概念」「割り算」につながる問題や、「展開図」や「円グラフ」など『図形での知識・理解』が苦手です。

○基礎的な力は十分あるようなので、発展的な内容に積極的に取り組み、更に力をつけていくようにします。

【2年生 国語】

＜強み＞ 言語の領域の中の「漢字の読み書き」はできています。「文法」については未習の問題もあった中で、既習の問題については理解できていました。

＜弱み＞ すべての領域において全国平均を下回っています。特に『読む力』が低くなっています。限られた時間の中で、素早く内容を理解することが苦手のようです。また、『語句や表現技法についての理解』においては、1年時に学習したものを忘れてしまっているため、特に「表現技法」について復習が必要です。『話す・聞く力』も弱いようです。

○毎回の漢字小テストを継続します。

○作品全体をじっくりと読み味わうだけでなく、要点をまとめる練習や様々な語句や表現を身に付けるために、多くの文章にふれるようにしていきます。

【2年生 数学】

＜強み＞ 『数学的な技能』『数量や図形などについての知識・理解』は全国平均を上回っています。特に『文字の式』は得意なようです。基礎的な力はほぼ定着しています。

＜弱み＞ 「知識を使って式を組み立てたり説明したりすることや」「図形の性質を使って考える」ことが苦手です。知識や理解をもとに発展的に考える力をつけていく必要があります。

○基礎知識や今まで理解してきたことを使い、図や表を書くなどして、考える過程を大切にしながら取り組みます。

○工夫することやいろいろな領域との関連性に目を向けて考えることを習慣づけていきます。

2年生・3年生 英検IBA(英語能力測定テスト)

英語検定準会場校として3年間取り組み、多くの生徒がチャレンジしてきた成果がでています。

【2年生】

平均得点が628点(4級レベル)で四日市市の平均得点を上回っています。分野別正答率は 語彙・熟語・文法 80.6% 読解 82.3% リスニング 79.6%でした。

特に、読解の能力に大変優れています。今後重視されるスピーキング力を強化するためにも、基礎となるリスニング力の育成に努めていきます。

【3年生】

平均得点が773点(3級レベル)で四日市市の平均得点を上回っています。分野別正答率は 語彙・熟語・文法 84.3% 読解 70.9% リスニング 76.0%でした。

受検者全員が5級以上レベルの得点でしたが、長文を苦手に行っている生徒が多く、読解力を伸ばすことが課題です。

今後の指導や取組について

今後も、一人ひとりの生徒が学校生活を安心かつ自信を持って過ごし、自分の将来を切り拓くことができるよう、人権学習を通じて「人を大切にすること」を正しく学び、体験学習や志授業などによるキャリア教育を推進します。また、教科学習では、生徒が学習に対する意欲や関心を高めることができる「わかる授業」を目指して、以下の点について取り組みます。

- ☆生徒が主役(中心)となる学習活動をめざし、すべての活動の場で、生徒を認め、自己肯定感や人権意識を高める取り組みを進めます。
- ☆地域人材・資源を活用した体験的活動の充実を図り、生徒のめざす将来像を広げます。
- ☆授業での問題解決学習や「クラス会議」の充実により、身の回りの課題を見つけて主体的・協働的に解決する力やコミュニケーション力等、「生きる力」の育成に努めます。
- ☆授業のめあてを明確に示し、授業の振り返りを行いながら、本校の学力向上システム「MITAKI」の「I」＝「ICTの活用」や、「T」＝「ともに学ぶ＝グループ活動」、「A」＝『アプローチ』等をさらに充実させて、生徒の関心を高め、意欲的に取り組めるように指導の改善を図ります。
- ☆「月スタ」(月曜日・7限目)や定期テスト前の「質問日」、長期休業中の「自主学習」を継続して、学習習慣の定着、学習意欲のさらなる向上を図ります。
- ☆「家庭学習シート」を継続し、1・2年生は毎日の授業の振り返り、3年生は帰りの会前の基礎学習プリントに向けての学習に取り組みます。
- ☆コミュニティスクール運営協議会を通じて、外部講師を招いた授業や学習会、英語・漢字・数学検定実施への協力、地域行事や地域ボランティアへの参加を促進します。

